

# 地域で育てる新規就農者

活動対象：全域農業研修生及び後継者等

担い手育成を目的とした農業基礎ゼミナール（共催JA北ひびき）を開催し、指導農業士等を講師に現地研修会を開催した。冬期間は関係機関と広く連携し、農業基礎を学ぶ座学の冬期学習会を開催した。

## 1 課題の背景

### 地域の現状

- ・後継者不足により農外からの研修生を受入れている。
- ・担い手の学びと交流の機会としてJAと連携した「北ひびき農学校」をH25年度から継続しているが、昨年度はコロナ禍で途中で中止となった。

### 地域の課題

- ・広域的な担い手育成
- ・コロナ禍での活動継続

## 2 活動の経過

**現地研修会**：農業基礎ゼミナール（以下「北ひびき農学校」）を現地ほ場等で開催

- ・参加人数：各回6～8名
- ・対象：JA管内



農業士から新規就農者へ  
熱いメッセージ

目標とする経営のあり方をイメージできた

他の農場で研修している仲間と交流する機会となった

日程	内容	講師
①6/29	経営の基礎	農業士
②7/5	畑作物の基礎	指導農業士 普及センター
③7/13	水稻の基礎	普及センター
④8/23	GAPについて	GAP認証農場 普及センター
⑤10/28	JA施設見学 酪農経営と構築 連携	JA北ひびき 農業士

第1回(6/29)：農業士が講師となり機械化等を進めてきた経営を学習

(コロナ感染対策として全て屋外開催)

**座学研修会**：土別市の取り組みがきっかけとなり広域的な「冬期学習会」を開催

- ・参加人数：各回10～15名
- ・対象：1市2町

### 冬期学習会開催までの経緯

土別市農業研修生から農業基礎を学びたいとの要望

土別市・JAと開催方法等を協議。北ひびき農学校対象者等も含めることを提案、了承を得た。

剣淵町・和寒町に協力を要請し対象者を拡大、参加呼びかけ

1市2町JA連携のもと開催



土別市「市外からの受講生も受入れてもいいですよ！密にならない広い会場を用意します。」

初めてこのような勉強会に参加した

畑作物の栽培について理解が深まった

疑問を解消することができた

日程	内容	講師
①1/12	土壌肥料	普及センター
②1/19	植物保護	普及センター
③1/26	水稻	普及センター
④2/2	畑作(小麦・大豆)	普及センター
⑤2/9	野菜	普及センター
⑥2/16	農業機械・農作業安全	JA北ひびき
⑦2/24	共済制度・JA北ひびき管内の概要	NOSAI JA北ひびき

第2回(1/19)：植物保護基礎知識と総合的防除

(⑤～⑦はコロナ感染対策として中止・延期)

## 3 活動の成果

コロナ感染対策の徹底により関係機関や参加者の理解を得ることができ、現地と座学により農業基礎の研修会を開催することができた。

指導農業士・農業士の協力を得ることができ、活動の機会が広がった。

## 4 今後の課題

- ・北ひびき農学校と冬期学習会の運営に関わる関係機関との協力体制の整備
- ・指導農業士・農業士と参加者および参加者同士の交流促進
- ・卒業後のフォロー